

# 大田区立龍子記念館

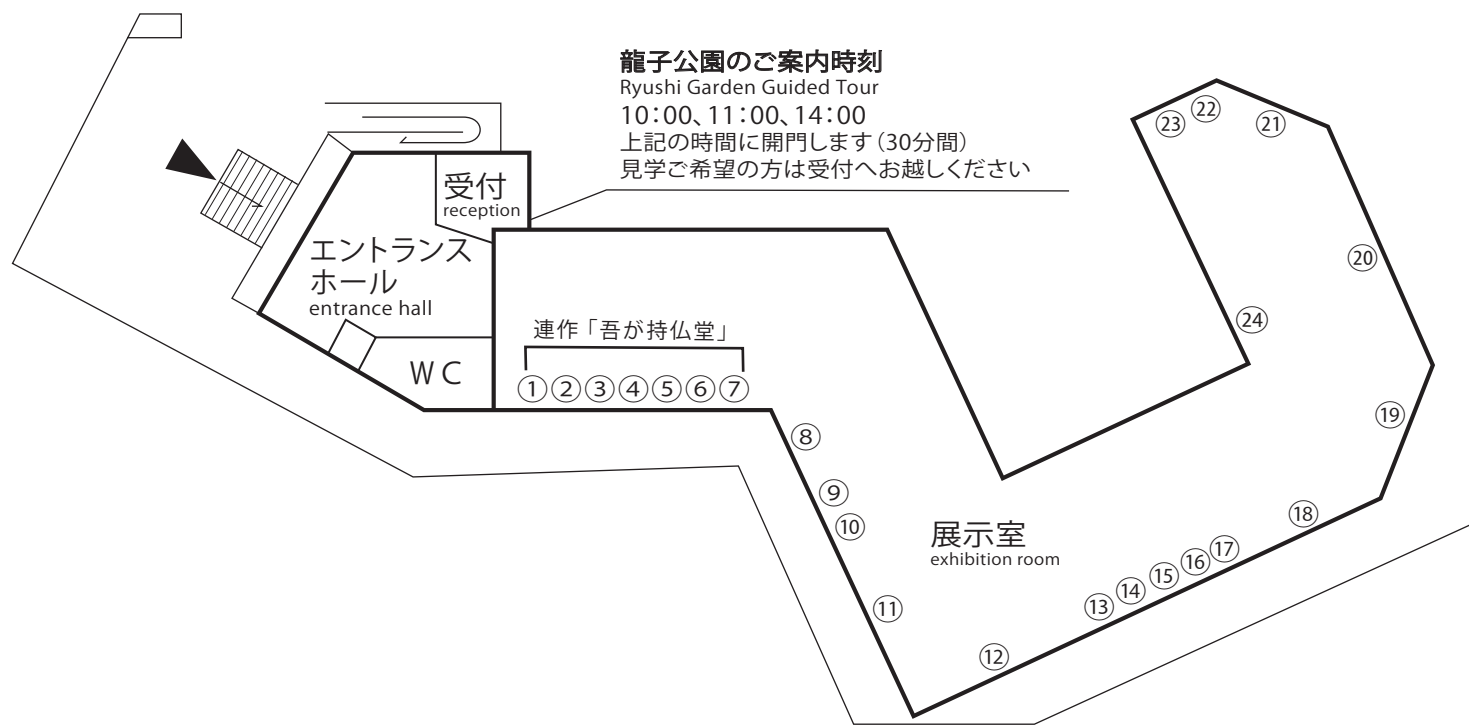
## 名作展「画家と生活 川端龍子の晩年の作品から」

### 2023年7月15日(土)～10月9日(月・祝)

## Ryushi Memorial Museum

Ryushi Kawabata Exhibition July 15 – October 9, 2023  
 “The Life of Ryushi in His Final Years as Seen Through His Works”

Ryushi Kawabata (1885–1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.



## 展示作品

作品名	Title	制作年/年齢	サイズ(縦×横)	形状	出品展
連作「吾が持仏堂」	“My Household Temple” Series	1958年(73才)		紙本墨画金彩色 額・7面1組	第29回ヴェネチア ビエンナーレ
①「般若心経」	From Hannya Shingyo Sutra 88.1×66.9cm	⑤「多聞天」	Tamonten 88.2×67.0cm	※龍子公園内・旧宅にある持仏堂の 当時の様子を7連作で表現。 並び順は「第三回龍子の歩み展」 (1962年)を参考とした。	
②「燈明」	Votive Lights 88.1×67.0cm	⑥「供物」	Votive Offerings 87.9×67.2cm		
③「不動尊」	Fudosen 89.6×66.9cm	⑦「観音経」	From Kannon Sutara 88.2×67.3cm		
④「十一面観音」	Eleven-Faced Kannon 184.5×121.8cm				
⑧「仏誕生像」	Birth of Buddha	1964年(79才)	119.3×179.5cm	紙本彩色・額	第32回春の青龍展
⑨「仮装 魚籃観音」	Imitating Gyoran Kannon, Goddess of Fish	1961年(76才)	112.8×84.0cm	紙本彩色・額	第29回春の青龍展
⑩「仮装 不動明王」	Imitating Fudo, God of Fire	1961年(76才)	113.9×84.8cm	紙本彩色・額	第29回春の青龍展
⑪「やすらい」	Peace and Beatitude	1958年(73才)	242.0×728.0cm	紙本彩色 額装・六枚一面	青龍社創立30周年記念展
⑫「孫悟空」	Sun Wuk'ung Monkey With Divine	1962年(77才)	243.0×728.0cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第34回青龍展
⑬「花鳥諷詠」	Composing Poems of Birds and Flowers	1954年(69才)	112.0×176.0cm	絹本彩色・額	第22回春の青龍展
⑭「朝暘松島」	Matsushima in Morning Light	1951年(66才)	84.0×110.0cm	絹本彩色・額	第1回連作奥の細道点描展

# 大田区立龍子記念館 Ryushi Memorial Museum

名作展「画家と生活 川端龍子の晩年の作品から」 2023年7月15日(土)～10月9日(月・祝)

Ryushi Kawabata Exhibition "The Life of Ryushi in His Final Years as Seen Through His Works" July 15 - October 9, 2023

作品名	Title	制作年/年齢	サイズ(縦×横)	形状	出品展
⑮「千住大橋」	Senju Ohashi Bridge	1955年(70才)	60.4×72.4 cm	絹本彩色・額	第5回連作奥の細道点描展
⑯「三申図」	Three Wise Monkeys of Nikko Toshogu Shrine	1955年(70才)	47.0×72.9 cm	紙本彩色・額	第5回連作奥の細道点描展
⑰「白河の関跡」	Imitating Benten, Goddess of Fortune	1955年(70才)	112.0×84.0 cm	紙本彩色・額	第5回連作奥の細道点描展
⑱「霹靂(はたたく)」	Peal of Thunder	1960年(75才)	243.0×728.0 cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第32回青龍展
⑲「阿修羅の流れ(奥入瀬)」	Ashura Stream in Oirase	1964年(79才)	245.4×484.8 cm	紙本彩色 額装・四枚一面	第36回青龍展
⑳「寝釈迦」	The "Lying shakyauni" Moutains	1954年(69才)	245.4×727.2 cm	紙本彩色 額装・六枚一面	第26回青龍展
㉑「伊豆の霸王樹」	Cacti in izu	1965年(80才)	244.0×485.1 cm	紙本彩色 額装・四枚一面	第37回青龍展
㉒「十国峠」	Jukkoku Pass	1957年(72才)	55.1×73.6 cm	絹本彩色・額	個展〔富士と周辺〕
㉓「ドライブウェイ」	Driveway	1957年(72才)	57.4×71.0 cm	絹本彩色・額	個展〔富士と周辺〕
㉔ 寄託作品「山径春装図」	Mountain Road in Spring	1927年(42才)	56.7×72.2 cm	絹本彩色・軸	第3回茨城美術展

## 展示ケース 晩年のスケッチ (8点)

1957年の富士登山の際のスケッチや、本展出品の《やすらい》を描く際のクジャクのスケッチ、そして、龍子最晩年の《阿修羅の流れ》を描く際の1964年の十和田湖への旅行、最後の旅行となった伊豆でのスケッチ等を展示。

## 展示ケース インド・ネパール スケッチ (9点) 1962年(77才)

本展出品の《孫悟空》に関連し、1962年に喜寿にして龍子がインド・ネパールの仏跡を巡った際のスケッチを、『読売新聞』に掲載された紀行文とともに紹介。

## 展示ケース おくの細道巡遊スケッチ (8点) 1955年(70才)

龍子が1951年から取り組んだおくの細道巡遊の旅において、今回は《千住大橋》、《三申図》の出品に関連して、1955年の第5次巡遊の際のスケッチと俳句の短冊を展示。

計49点

## ■ギャラリートークの開催について(事前申込制)

7月30日(日) 11:30～、13:00～  
8月27日(日) 11:30～、13:00～  
9月24日(日) 11:30～、13:00～



お申込み方法  
メールの場合左の  
二次元コードから  
お電話の場合  
03-3772-0680から  
お申込みください

学芸員が展覧会の概要と出品作を、キャプションには書ききれなかったエピソード等をふくめ解説します。(40分程度)。

## ■展覧会の紹介動画をYouTubeで順次公開しています

龍子記念館では、名作展、企画展の紹介動画を作成し公開しています。展覧会やギャラリートークに来られない方もご自宅にしながら龍子作品をお楽しみいただける内容となっています。本展の紹介も順次公開していく予定です。ぜひチェックしてみてください。



龍子記念館の動画が公開されている大田区文化振興協会のYouTubeチャンネルは、こちら

## ■次回展のご案内

### 企画展「川端龍子プラスワン(仮称)」

前期:2023年10月21日(土)～12月3日(日) 後期:12月9日(土)～翌1月28日(日)

2021年に好評を博したコラボレーション企画展に引き続き、高橋龍太郎コレクションの協力のもと、龍子記念館の所蔵作品に現代アートの作品をプラスワン! 川端龍子の作品を現代の美術作家の作品とともに展示し、龍子の大きな画面の作品と近代日本画を新たな視点から見つめ直す展示です。